



がっこう ねんど  
学校だより (H26年度) 第455号

へいせい ねん  
平成26年  
がつ にち  
5月20日 No. 3  
ぶんせき こだまひと  
文責 兒玉秀人

# か さ っ 子

## 5月の様子から

きょうりよく

ご協力ありがとうございました。

いっしょうけんめい

一生懸命プレーしました。

さくせん

作戦は？

ゆうしょう ふるたけ ちく  
優勝：古竹地区

じぶん いのち じぶん まも  
自分の命は、自分で守る。  
じじよ きょうじよ こうじよ  
自助・共助・公助

「みぎよし・ひだりよし・みぎよし・うしろよし」

【避難訓練】

【交通安全教室】

たくさんできるといいな！

【5月16日 サツマイモ植え】

# 子どもたちの作品から

## 【校長室まへの詩より】

校長室まへの廊下に子どもたちが読むように詩を掲げています。五月の連休前には、三年生の教科書から「春の子ども」をとりあげました。その詩をもとにしてさんが、次のような詩を書いてきました。

たけのこが  
ぴくり ぴくぴく  
太陽の光があつたかい  
ぴくり ぴくぴく

これは、「春の子ども」の詩の中で繰り返し出てきている「ぴくりっ ぴくぴくっ」をまねてつくったものです。このように子どもたちが自分で考え出すように仕向けていくことで自主的な学習ができるようになってくると考えます。

「学ぶ」ということは、まず「まねる」ことが大切です。伝統芸能の世界に「守・破・離」という言葉があります。「守」は教えるを守ること。「破」はその教えを破ること。「離」は、そこから離れること。小学校では、この「守」を重視したいものです。

## 【田植えて学んだこと】

四月十四日に笠つ子田んぼで、田植えがありました。

わたしは、この日がとても楽しみで、わくわくしていました。田んぼに着くと、地いきの方がたくさん来られていました。

田んぼに入ってみると、少し冷たくてどろどろしていました。そこには、オタマジャクシやアメンボなど、たくさん生き物がいました。

地いきの方は、わたし達が帰った後、片づけをされていました。わたしは、準備や片づけをわたし達がいらない所でもやってくださることに、感謝しようと思いました。地いきの方は、何か行事があると、いつも手伝ってくださいます。わたしは、地いきの方は、やさしいなと思います。

これから、運動会やしゅうかく祭などでも、協力してくださることがあると思うので、その時も地いきの方に感謝しようと思います。その感謝の気持ちをあいさつや行動で表せるようにします。

## 【PTA関係】

七月五日（土）PTA奉仕作業

### 時間

午前八時から十一時三十分ごろまで

### 内容

水源池清掃・草刈り・プール清掃

### その他

草刈り機をご持参ください  
小雨決行（大雨で中止の時は地区の放送で連絡します）

作業後バーベキューをします。



## 【六月行事予定】

一日 スポーツフェスタ（参観日）

二日 休み

三日 ノーチャイムになります。（三十日）

四日 全校朝会

五日 防災教育

六日 歯科検診

七日 音読集会

八日 プール開き（有明小）

九日 水泳教室

十日 移動図書館

